

## 株式会社 松屋 2018年6月上報告

## 1. 店舗別 売上高概況 (単位:%)

	売上高	入店客数
① 銀座本店	17.7	10.3
② 銀座店	19.7	13.4
③ 浅草店	-2.7	5.7

- ① 銀座本店 : 「銀座本店」の数値は「銀座店」と「浅草店」両店計の売上高対前年増減率を表記いたしております。  
 ② 銀座店 : 「銀座店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。  
 ③ 浅草店 : 「浅草店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。

## 2. 売上高対前年増減率推移

(単位:%)

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
銀座本店	6.5	10.0	13.5	8.1	11.4	2.9	1.3	12.3	5.3	9.0	9.4	17.7
松屋銀座	7.1	11.0	14.2	8.7	12.3	3.1	1.4	13.1	5.3	11.2	10.4	19.7
松屋浅草	-1.3	-0.8	4.0	-0.9	1.8	0.5	0.3	-0.2	4.7	-17.0	-2.4	-2.7

## 3. 店舗別商況

銀座店	銀座店は、早めの梅雨明けが後押し、婦人部門において盛夏軽衣料中心に売上は好調に推移、加えて、サングラス・傘等の婦人雑貨も売上を大きく伸ばしました。また、中元ギフト商戦においても、外商顧客需要が堅調に付き、ギフト全体の売上も前年を確保しております。免税売上高につきましては、引き続き、化粧品等の自家需要商材が好調に付き、売上高は前年を大幅に上回り推移いたしました。加えて、夏のクリアランスセールが6/29(金)よりスタートし、各部門において売上高は前年を上回り、店計では二桁の伸びを示し、売上高は12ヶ月連続で前年を上回りました。
浅草店	浅草店は、中元ギフト商戦は前年ペースで推移、また、婦人部門の化粧品・雑貨が好調に推移するも、主力となる食品部門がやや苦戦し、店全体の売上高は前年を下回りました。

## 4. 商品別売上高対前年増減率

(単位:%)

	銀座本店	松屋銀座
紳士服・洋品	10.9	10.8
婦人服・洋品	18.1	19.5
子供服・洋品	9.8	9.8
呉服寝具他	-7.5	-8.5
衣料品計	15.0	15.8
身廻り品	22.7	22.8
雑貨	40.3	40.5
家具	-1.7	-1.5
家電	-27.6	-24.0
家庭用品	-4.2	-4.0
家庭用品計	-4.2	-3.7
食料品	0.3	0.8
食堂・喫茶	10.5	10.5
サービス、その他	81.1	100.8
合計	17.7	19.7

## 商品別概況(銀座店)

\*婦人服・洋品は、ハイプライスラインの婦人衣料品が前年の売上に対して約二桁し全体を牽引したこと等で、衣料品全体の売上高も前年を上回りました。

\*婦人関連では、傘・サングラス・サンダル等の婦人靴の売上が大幅に前年を上回りました。

\*化粧品・時計は、好調な免税売上高が牽引し、ともに売上高は前年に対して1.5倍の伸びを示しました。

☆「7月上報告」は、8/1(水)の開示を予定しております。